

競技上の注意

北海道卓球選手権大会（マスターズの部フォーティ以上）
審判長 北里 嘉則

現行の日本卓球ルールを適用して実施する。

1. ルールの概要

- ・ 11本5ゲームマッチで行う。
- ・ ゲーム開始後10分経過した場合は促進ルールを適用する。但し、双方のポイント合計が18(9-9、10-8)以上に達した場合は、適用されない。(23.4.1)
- ・ ゲーム間の休憩時間は1分以内。
- ・ タオルの使用は6ポイント毎と最終ゲームのエンド交換時のみ。
- ・ サービスは、開始から打球までボールをレシーバーから隠してはならない。また、審判員が正規のサービスであることを確信できるよう行うことは、競技者の責任である。
- ・ ポイントが決定した後は、速やかに次のサービスあるいはレシーブの態勢をとり、競技時間の遅延を避けること。

2. ボール、ラバー、ラケットについて

- ・ ラバーはラケット本体よりも大きかったり小さかったりしないこと。公認マーク・メーカー商標・ロゴなどはグリップに最も近い場所にはっきり見えるように貼らなければならない。
- ・ ゲーム中にラケットを破損した場合は、スペアラケットか競技領域内で手渡されたもので直ちにプレーを再開すること。
- ・ ラケットはJTTA、ラバーはJTTA、ITTFの公認マークがないものを使用する場合は、予め審判長の許可を受けること。
- ・ 試合中のインターバルでは、ラケットはテーブルの上に置くこと。

3. 競技服装

- ・ ゼッケンは2022年度（公財）日本卓球協会指定のものを着用すること。
- ・ 競技服装はJTTA公認ワッペンが付いているものとし、**明らかに異なったユニフォームを2着以上用意すること。**
- ・ ヘアバンド・リストバンド・スパッツは着用できるが、JTTA指定業者以外のマークが見えることは認められない。
- ・ 肘・膝より長いアンダーウェアは着用できない。但し容認するに足る事由がある者は予め審判長に申し出て判断を仰ぐこと。

4. アドバイスはラリー中を除いていつでも受けることができる。

5. 準々決勝からはタイムアウト制が適用となります。

6. 全種目とも敗者（リーグ戦は相互）審判とする。但し、準々決勝からは審判員を配置する。